

# 橋下市長は「大阪の恥」

「いえいえいえ！新聞の見出しを見て、私はのけぞった。「慰安婦必要だった」「沖縄の米軍には風俗を活用してほしい」。なんやこの人は！戦時下の性暴力である従軍慰安婦制度がなぜ必要だったと言いつける？これは世界から猛反発を喰らうし、「大阪の恥」ではないか！女性の人

権、いや男性をもバカにした「暴言」には、怒りを通り越してあきれしてまつ。「なぜこんな人物を大阪のトップに選んでしまったのか」。後悔先に立たずというが…。橋下市長の暴言が許せないの、こゝでは今一度「従軍慰安婦問題」を考えてみたい。(ジャーナリスト・西谷文和)

## 歴史が示す真実

1931年の満州事変から、日本軍はアジア各



①南京に設置された慰安所に並ぶ日本兵

地に慰安所を作っていた。写真①は1938年、南京に開設された慰安所に群がる日本兵。(日支事変上海派遣軍司令部記念写真帳より)なぜ日本軍が次々と慰安所を設置していったのか？それは、①



②朴さんは写真の右側、妊娠中だった

占領地、特に中国で日本兵による強姦事件が多発し、現地中国人の間に反日感情が高まり、治安回復のために作られた。②日本兵の間に性病の感染を防ぐため、慰安所では軍医による「慰安婦」の性



③壕の中で自決する兵士と慰安婦

人巡査から「お金が儲かる仕事がある」と騙されて南京の慰安所に連れていかれた。そこでは「歌丸」と名付けられ、2階の19号室に閉じ込められた。言いつことをきかないと軍刀で斬りつけられたり、拷問部屋で、全裸で体罰を受けた。その後、ビルマに送られ、中国雲南省の芷孟(フモウ)へ。芷孟は最激戦地で、日本兵は壕の中で自決玉碎するのだが、その中に慰安婦も2人連れにされた(写真③)。

朴さんは自決の直前隙を見て逃げ出した。この時助かったお腹の子どもは死産だった。「50年以上経った今も、黄色い服を来た日本人に追いかけられたり、首を絞められる夢を

見ます」。朴さんは日本に来て、涙ながらに訴えてくれた。(2006年永眠)

トモサ・サリノグさんはフィリピン人だ(写真④)。1942年、日本軍がやってくるとサンホセは日本兵であふれた。ある夜、2人の日本兵が自宅に来て連行しようとした。止めようとした父親はヒロオカ大尉に首を切り落とされ亡くなった。その夜、13歳のトモサさんはヒロオカ大尉に強姦され、処女を失った。それから毎日5人くらいの兵士に繰り返し強姦された。初潮前だった。慰安所から脱走を試みたが、オクムラ大佐に見えられ、その後終戦までは奴隷のように扱われ、強姦され続けた。

## 強い者には媚弱い者は叩く

橋下市長は、「当時は必要だった」「強制連行した証拠はない」と言いつが、朴さんは騙されて連れ出され、トマサさんの場合は明らかかな「殺人&強制連行」だ。



⑥自民党に責任転嫁？

軍には風俗を活用してほしい」という発言のみ謝罪し、撤回した。一方「慰安婦」たちにも沖縄の人々にも謝罪していない。

二人の悲惨な体験 従軍慰安婦の体験談は山ほどあつて、それぞれが涙なしには聞けない悲惨な体験だが、こゝではお二人、紹介したい。写真②の右手、妊娠している朝鮮人「慰安婦」が朴永心(パク・ヤンシン)さん。朴さんは17歳の時に、日本

## 危ない日本の進路

5月30日大阪市議会で各党の思惑が入り乱れ、すったもんだの末、市長に対する問責決議が否決されてしまった。「やつぱり維新はケンカ上手」などと報じるメディアもあつた。だんだん問題が本質からそれていつてないか？なぜ、こんなに悲惨な「従軍慰安婦制度」を日本軍が作ってしまったのか？戦後ドイツはナチスの犠牲になった方々一人ひとりに誠意ある謝罪と補償を行った。なぜドイツでできたことが日本でできなかったのか？戦後70年近くたつて、なぜ安倍首相や橋下市長が「強制連行の証拠はない」と言い出すのか？こつしたところ

今回の暴言はその背景に、「安倍首相(ジャイアン)に気に入られた」という「スネ夫的」な算段がある。写真⑥は「なぜ僕だけが叩かれぬとダメなの？」という彼特有の「責任転嫁」を示した新聞記事である。

●写真は全て「私たちの戦争と平和資料館WAM」より



④日本兵に強姦され続けたトモサ・サリノグさん



⑤フィリピンのロラ(タガログ語でおばあさん)たち。「安倍首相はウソつきだ」「私はレイプされた」というプラカードを持っている



強制連行された時の体験を「慰安婦」の1人が描いた絵。花が咲いているのは朝鮮半島。引っ張るのは日本兵だ

